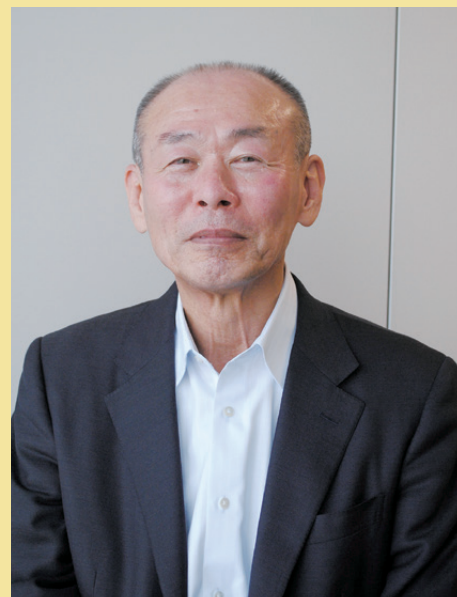


今、気になる人に会いに行く。

日本地図学会会員
長久保赤水顕彰会会長
佐川 春久 さん

経緯線や主要街道が書き込まれた地図「赤水図」は、
吉田松陰も愛用した幕末のベストセラー。
ながくほせきすい
長久保赤水の偉業を次の世代に伝えたい。



プロフィール●
1949年、東京都築地生まれ。高萩市役所に38年間勤務し、2010年に定年退職。
その後、高萩市歴史民俗資料館館長などを経て、現在は高萩市教育委員会生涯学習課の任用職員。長久保赤水顕彰会会長、戸沢政盛公顕彰会会長、高萩郷土史研究会の事務局を務めている。長久保赤水顕彰会として、「マンガ長久保赤水物語」、オリジナルフレーム切手の企画・編集、赤水図のレプリカ、絵本「りゅうのひかり」を発行してきた。

が、詳細な記述に驚かされる。

高萩市出身の儒学者・長久保赤
水は、日本で初めて経緯線のある
全国地図を完成させた人物であ
る。彼に関する資料693点が、
この3月、国の重要文化財に指定
されることが決定した。

赤水は多くの資料を研究し、経
緯度という天文学を学び、旅人や
修験僧の話を参考にして地図を完
成させています。国境や名所旧跡
だけでなく、港からの距離や主要
街道・河川など情報量が多く、物
流や経済活動に使われていたと思
われます。

教科書で目にする伊能忠敬の地
図は、江戸幕府の秘図でしたの
で、実際に庶民が見ていた日本地
図は「赤水図」だったんです。「伊
能図」は測量図で、「赤水図」は編
集図。第五版まで出ており、地図の
中に多くの情報が入っています。

それだけの偉業を成し遂げた人
物でありながら、全国だけでなく地
元でも知らない人は少なくない。

原寸大のレプリカを手にした

赤水は、農業をしながら勉学に

励み、その功績を認められ61歳で
水戸藩主の侍講（学問の師）に取
り立てられた人物です。彼が残し
た資料、そして郷土を研究してき
た先生方の資料を次の世代に伝え
るため、1992年に「長久保赤
水顕彰会」を発足しました。

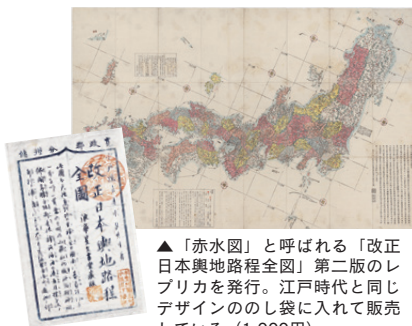
だが、大河ドラマ、教科書への掲
載、記念館の開館など、さらなる
目標に向けて顕彰会では会員を募
集しています。
佐川さんが、そこまで顕彰会の活動
に力をいれるのはなぜ？

これまでに、レプリカ制作をは
じめ、漫画や切手などを発行し、
赤水の偉業を伝えてきました。念
願叶って国の指定がいただけまし

実は私の出身地は東京でして、
結婚して高萩市に移りました。外
の人間だからこそ気づく、地元
の魅力があるのだと思います。今
は、お年寄りから地域の歴史の話を聞
くことが少なくなりましたが、子
供たちに赤水をはじめ偉大な先人
のことを伝えたいと考えています。



▲「改製日本分里図」。「改正日本輿地路程全図」の原図となった、経緯線の入った初めての日本地図。貼紙や胡粉による修正が多くあり、期間をかけて作成したことがわかる。



▲「赤水図」と呼ばれる「改正日本輿地路程全図」第二版のレプリカを発行。江戸時代と同じデザインののし袋に入れて販売している（1,000円）。



▲「赤水図」の中に残された「閻伽井嶽（あかいだけ）の龍燈」をもとに絵本「りゅうのひかり」を制作



▲JR高萩駅前には、長久保赤水の銅像と地図が設置されている。

「長久保赤水顕彰会」

☎ TEL.090-1846-6849 (佐川)
※吉田松陰の「東北遊日記」の足跡を辿れる赤水図レプリカ発行のため、クラウドファンディングで寄付金募集中。

赤水図 キャンプファイヤー

🔍 検索